

ソースからビルド・インストールした環境でのidlディレクトリの状況を確認する

2015/12/07 10:39 - n.kawauchi

ステータス:	終了	開始日:	2015/12/07
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:	RELENG_1_1		

説明

- iREX2015 RTM講習会での状況を確認する
- Ubuntu15.10の環境でFlipコンポーネントを作成した際、ポートのデータ型を選択しようとして一覧として表示されなかった
- idlディレクトリが空だった

履歴

#1 - 2015/12/07 17:46 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

- 新規に自分の環境でubuntu15.10のVM環境を作成して確認したところ、問題なかった
- 確認した手順は次の通り
 - ビルド環境は、pkg_install_ubuntu.shを実行して整えた
 - ソースパッケージをダウンロードしてビルドする OpenRTM-aist-1.1.1.tar.bz2
 - configure, OpenRTPのため、以下のパッケージをインストール
doxygen
aptitude
omniorb-nameserver
openjdk-8-jdk
 - make, make install後、以下のディレクトリが空でないことを確認
/usr/include/openrtm-1.1/rtm/idl
 - OpenRTP全部入りパッケージをダウンロード、\$HOMEへ展開して動作を確認

```
$ ./openrtm
No OpenRTM-aist (Java)installation found.
No OpenRTM-aist (Java) installed found.
Please install OpenRTM-aist (Java) and set RTM_JAVA_ROOT
  ex. export RTM_JAVA_ROOT=/usr/include/openrtm-1.1/
```

```
Launching eclipse with the following environmental variables.
```

```
RTM_ROOT      : /usr/include/openrtm-1.1
RTM_JAVA_ROOT:
```

```
OpenJDK 64-Bit Server VM warning: ignoring option MaxPermSize=256m; support was removed in 8.0
```

- RTCBuilderでFlipコンポーネントを作成してみたところ、ポートの定義で問題なくデータ型一覧が表示される

トラブルしていた方はキー操作がとても速く、ubuntu環境を熟知されていたので、一部始終を見ていたわけではないのですが、パッケージを使ってインストールするのは都合が悪く、ソースからインストールしたいとおっしゃっていました。

- 最初のトラブル：ビルダーでコンポーネント作成時、データ型が表示されない
 - この時、eclipseをパッケージでインストールし、OpenRTP 1.1.0-RC5のページの説明を読み更新サイトを追加してOpenRTPをインストールしていた
 - OpenRTPの全部入りパッケージを使ってもらうようにしたが、この環境でも状況は変わらないとおっしゃった
 - ここは私のフォローミスでした。eclipseではなくopenrtmのコマンドで実行してもらえば、RTM_ROOTが設定されて見えたはず
 - その後様子をうかがったら手動でRTM_ROOTを設定しても改善しないとのこと
 - openrtmのインストール先のidlディレクトリが空だということで、ソースをダウンロードしてコピーして環境を作られたようだった

どういう手順でソースからインストールしたのか、詳細をうかがわなかったが、とりあえず動作確認できたのでこのチケットは解決とする。

#2 - 2016/08/09 15:41 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更

1.1.2をリリースしたので終了としました。ありがとうございました。